

令和8年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍)					
学習の到達目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決すると共に、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に取り組む態度			
	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見付け、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、充実向上を目指して主体的に取り組むと共に実践的な態度を身に付けている。			
評価の方法	上記の3つの観点について、授業への出席状況、授業中及び実習中の態度、課題等の提出状況、発表の仕方や内容、定期考査等から総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	第1章 生涯を見通す		・生涯発達の視点で、青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解する。 ・男女が協力して家庭を築くことの意義や、現代の家族、家庭の特徴を理解する。 ・子どもを生み育てることの意義について考え、子どもの健やかな成長のための家族や社会の果たす役割について考える。 ・日本が超高齢社会を迎えていることについて、その高齢化の現状と今後の解決すべき課題について理解する。 ・家庭や地域において、共に助け合いながら生きることについて考える。			
	第2章 人生をつくる					
	第3章 子どもと共に育つ					
	第4章 超高齢社会を共に生きる					
	第5章 共に生き、共に支える					
後期	第6章 食生活をつくる		・良い食習慣を考え、健康な体と充実した生活の基礎作りをし、食品の栄養素の種類と働きについて理解して献立作成に活かすと共に、調理上の要点と調理の基礎技術を身に付ける。 ・購入から活用、手入れ、保管、再利用、廃棄までを考えた被服計画の必要性について理解する。 ・ライフステージやライフスタイルに応じた住計画や住選択を理解し、自分らしい快適な住まいになるための工夫などを考える。 ・持続可能な社会を目指して消費者としてできることを考える。 ・生涯を見通す考えをもち、実践できる能力を身に付ける。			
	第7章 衣生活をつくる					
	第8章 住生活を営む					
	第9章 経済生活を営む					
	第10章 持続可能な生活を営む					
	第11章 これからの生活を創造する					